

第10回飛鳥学冠位叙任試験（上級編 筆記・論述）問題【解答】

1. 石神遺跡の発掘調査で、7世紀中葉に沼沢地を整地して山田道をつくった状況が見つかった。その工事に用いられた土木技術は？

A ^{しきは こうほう}
敷葉工法

2. 『日本書紀』では、垂仁天皇の命により、常世国にあるという「トキジクノカグノコノミ」を求めさせたと記されています。命をうけたのは？

A ^{たじまもり}
田道間守

3. 古代宮室のひとつ、小墾田宮の所在地を知る手がかり。雷丘が「小治田宮の北に在り」と伝える仏教説話集、通称名は？

A ^{にほんりょういき りょういき}
日本靈異記、靈異記

4. 『続日本紀』によると諸国の郡郷の名に好字をつけよと勅命が出されました。いつ？

A 和銅6年(713)

5. 「神亀四年(727)冬頃、大宰帥に任ぜられた父に随い、筑紫に下向する。当時大宰府には山上憶良・沙弥満誓ら文人が集い、筑紫歌壇を形成した。天平二年(730)末、父の大納言任命に伴い帰京した。」この記事は誰のこと？

A 大伴家持

6. 「○○○ ^{こだち}木立も見えず ^{あした}降りまがふ 雪のさわける 朝 樂しも」(万葉集 3-262)

この歌は柿本人麻呂が新田部皇子に捧げた歌です。○○○に入るのは？

A ^{やつりやま}
矢釣山

7. 『日本書紀』斉明天皇3年9月条「○○皇子、性黠くして陽狂すと、」記された○○皇子とは？

A 有間皇子

8. 斉明天皇7年(661)、筑紫朝倉宮で斉明天皇が崩御して以来、天皇空位で中大兄皇子による称制の後、天智天皇として即位したのはいつ？

A 天智7年(668)

9. 「^{いにしへ}古に 恋ふらむ鳥は ^{ほととぎす}霍公鳥 けだしや鳴きし わが^{おも}念へる^{ごと}如」(万葉集 2-112)の作者は？

A ^{ぬかたのおおきみ}額田王

10. 『日本書紀』によると推古天皇4年(596)法興寺が竣工し蘇我馬子の長男が寺司に就いたとされます。長男の名は？

A ^{ぜんとこ}蘇我善徳

11. 天智天皇9年(670)、全国にわたる最初の戸籍がつくられたといわれます。戸籍の名前は？

A ^{こうごねんじやく}庚午年籍

12. 万葉集には^{ひなみしみこ}日並皇子(草壁皇子)の死を悼む歌が数多く集められています。何首？

A 27首

13. 西暦650年、^{あなと}穴戸(7世紀後半より^{ながと}長門)国から〇い〇が朝廷に献上されました。これを瑞祥とみなし元号を「〇〇」と改めたといいます。〇〇は？

A. ^{はくち}白雉

14. 百濟最後の第31代王で唐・新羅連合軍と戦い、敗れて長安に連行されたのは？

A ^{ぎじ}義慈

15. 『日本書紀』の所伝によると、応神朝から軍事氏族としての活躍が見え、履中朝に国政に携わるようになった。葛城氏没落後の雄略朝以降、真鳥(まどり)が「大臣」を歴任して一族の興隆を極めた。この氏族は？

A 平群氏

16. 「明日香川 明日谷将見等 念八方 吾王 御名忘世奴」(万葉集 2-198)この歌は、明日香皇女が亡くなったことを悲しんだ歌と言われます。作者は？

A 柿本人麻呂

17. ^{はくそんこう}白村江の戦いのあと、唐から日本へ2度にわたって派遣されてきた使者は？

A ^{でいぐん}祢軍

18. 持統天皇9年(695)生まれ、養老元年(717)に阿倍仲麻呂、玄昉らと遣唐使として入唐し、

天平7年(735)多くの典籍を携えて帰朝、その後正二位右大臣まで昇任した学者は?

A きびのまきび
吉備真備

19. 現在、入鹿の首塚として親しまれている五輪塔。仏教考古学の泰斗、石田茂作は『飛鳥時代寺院址の研究』の中で何と記している?

A 馬子塚

20. 『日本書紀』によれば、乙巳の変の際、蘇我蝦夷自害の現場に居合わせ、火中から「国記」を持ち出し、中大兄皇子に献上した人物は?

A ふねの えさか
船 恵尺

21. 古代の裁判と言われる「くがたち」、漢字で書くと?

A 盟神探湯

22. 万葉歌中、月にあるという伝説が詠まれている若返りの薬は?

A 変若水(をちみず)

23. 国宝 銅板法華説相図は、天武天皇の寿福を祈念して制作・安置された千仏多宝仏塔板である。この什宝を創建以来伝来している寺院は?

A はせでら
長谷寺

24. 坂田寺の起こりとして、鞍作氏に関し「継体天皇16年壬寅(522)2月に入朝した大唐漢人であり大和国高市郡坂田原に草堂を営み本尊を安置・・・」と記している書物は?

A ふそうりやつき ふそうき
扶桑略記、扶桑記

25. また坂田寺は尼寺で奈良時代まで栄えており、東大寺の大仏の東脇侍を寄進した尼僧は?

A しんしょう
信勝尼

26. 11歳で出家し、高句麗僧恵便に師事し15歳の時百済に留学した日本人最初の尼僧は?

A ぜんしんに
善信尼

27. 推古天皇は崇峻天皇 5 年 (592)、豊浦宮に即位し在位 36 年小墾田宮にて崩御したが何歳で崩御した？

A 75 歳

28. ^{しきしまかなさしのみや}磯城島金刺宮は何天皇の宮？

A 欽明天皇

29. 天智天皇と蘇我石川麻呂の娘、遠智娘との間に生まれた皇子で 8 歳で夭逝したといわれる皇子は？

A ^{たける}建皇子

30. 斉明朝のころ、4 度の蝦夷征討を行った将軍は？

A ^{あべのひらふ}阿部比羅夫

飛鳥学冠位叙任試験（上級編 論述）問題

31. 現在、飛鳥資料館に展示されている須弥山石は飛鳥時代を代表する石造文化財です。須弥山石の概要を説明してください。

(模範解答)

須弥山石は飛鳥石（花崗閃緑岩）製で表面に山岳のような文様が彫刻された大型の石造物。明治 35 年（1902 年）、石神遺跡の一角に当たる場所から掘り出された。その造形から、仏教世界の中心にあるという須弥山をかたどったものと考えられている。現状で 3 石が見つかっており、ダルマ落としのように積み上げて総高 2.3m をはかる。各石の内部は練りぬかれており、底部から水を下段内部の水槽へ引き上げ、そこから外面へ開けられた細い穴を通じて四方向に水が噴き出す、噴水装置としての構造を持っている。

『日本書紀』には推古朝に 1 回、斉明朝に 3 回、須弥山をつくったという記事があり、須弥山石はその記事と関係する遺物と考えられている。

須弥山石は重要文化財に指定されている。

32. キトラ古墳の天井には、満天の星が描かれた天文図があります。このキトラ古墳天文図を描いてください。

次の条件を図に落とし、それぞれをわかるように示してください。

内規、赤道、外規、黄道

星座は少なくとも 2～3 個描き、星間は線（本来朱線）で結んでください。星は何（何色）で表現されているかを示してください。

があったが、そのなかの「大宮土壇」説を裏付けたのは戦前の発掘調査であった。また飛鳥地域では、有名な乙巳の変に関連づけられる可能性がある遺構が、**甘樫丘**の東麓で見つかるなどし、一時注目を集めたことがあった。

考古学独自の発見としては、飛鳥地域では**高松塚古墳**が挙げられよう。その発見は文献に多くを頼る古代史研究では予測できなかったものであるが、その影響は大であった。飛鳥時代の官営工房跡と目される**飛鳥池遺跡**では、古代における工芸技術の水準の高さが明らかとなり、**飛鳥京苑池**でも大規模な石造苑池の調査が今なお続いている。また昨年、**藤原宮**では大極殿の北側において「後方回廊」の遺構が見つかり、これにより前期難波宮との関連性が強まるなど、古代途上の発達史を考えるうえで重要な成果が上がった。

このように、飛鳥地域の考古学はその対象域や年代幅が必ずしも広くはないが、発掘調査がもたらす新知見によって、大きく発展してきたといえる。今後、大発見はなかなか起きないかもしれないが、周知の遺跡の発掘調査が継続される必要があるだろう。